

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 西淀川区
学校名 大阪市立佃小学校
学校長名 伊藤 忠弘

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立佃小学校では、第6学年29名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は70ポイントとなり、大阪市平均正答率と全国平均正答率より約3ポイント上回った。

算数の平均正答率も、71ポイントとなり、大阪市平均正答率、全国平均正答率より約8ポイント上回った。

児童質問紙調査では、規則正しい日常生活や規律ある学校生活を送ることができていることがわかった。一方、自己肯定感に関するアンケートでは、大阪市平均を下回る項目が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

「知識・技能」の正答率が高い。漢字の書き取りや語句と語句の関係の表し方が理解できている。また、「書くこと」「読むこと」の正答率も高くなつた。読み取る力の育成の成果であると考える。登場人物の心情を読み取る力や、事実と感想、意見を区別して自分の考えを書く力が身についている。

[算数]

「知識・技能」の正答率が高く、80ポイントを超えていた。基礎的な計算力や問題に対する理解力があり、基礎・基本の徹底を図った学習の成果が表れた。領域別では、「データの活用」と「数と計算」の正答率が特に高かつた。表やグラフの意味を理解し、自分の考えを記述する問題がよくできていた。

質問調査より

基本的な生活習慣が身についていることが、朝食や起床時刻、就寝時刻の結果からわかつた。学校では、落ち着いた学習態度が見られ、意欲的に学習に取り組むことができている。「主体的、対話的で深い学び」を推進するために研究を進めており、児童は主体的に学習に取り組むことができている。興味・感心も高く、学習内容を理解している児童が多い。「将来の夢や目標を持っている」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」への肯定的な回答がやや低く、引き続きキャリア教育等を計画的に実施していくかなければならないと考える。

今後の取組(アクションプラン)

昨年度より、全学年で専科制を導入している。特に3年生以上では、週に8時間程度の専科制を取り入れており、学級担任の空き時間につくることで、教材研究や授業準備の時間を確保するようにした。今後も継続し、各教員の指導力向上を図りたい。

「校長経営戦略支援予算」や「ブロック化による学校支援事業」を活用し、全学年が漢字検定試験を受験するようにした。自分の目標に向けて、自主的に学習できる場の設定を行い、意欲をもって漢字学習に取り組む仕組みをつくる。

朝学習や午後の「つくだタイム」では、新出漢字学習や外国語の学習など、基礎・基本の学習にあて、学力を底上げを進める。

【 全体の概要 】

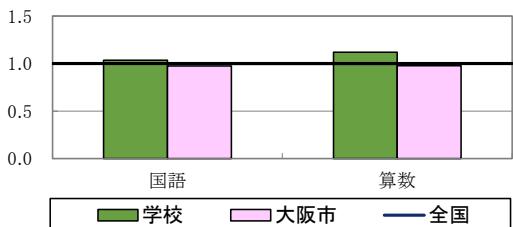
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	70	71
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

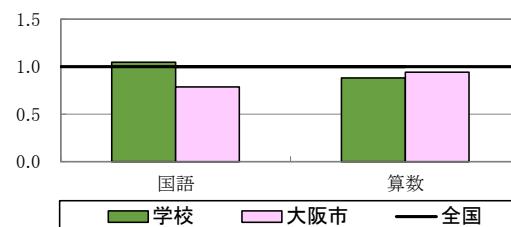
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	4.4	3.0
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



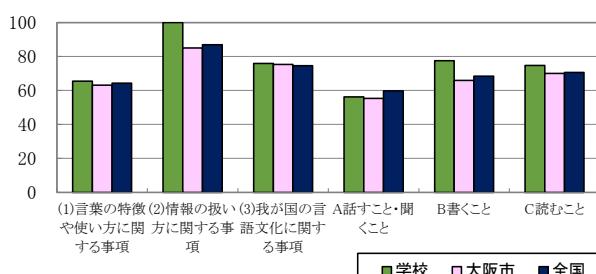
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	65.5	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	100.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	75.9	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	56.3	55.3	59.8
B 書くこと	2	77.6	65.9	68.4
C 読むこと	3	74.7	70.1	70.7

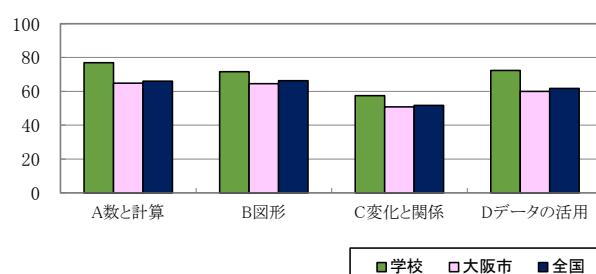
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	77.0	64.8	66.0
B 図形	4	71.6	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	57.5	50.8	51.7
D データの活用	4	72.4	60.0	61.8

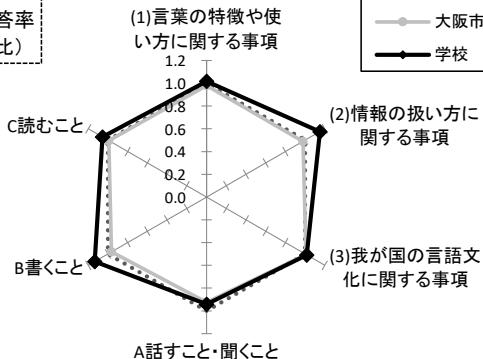
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



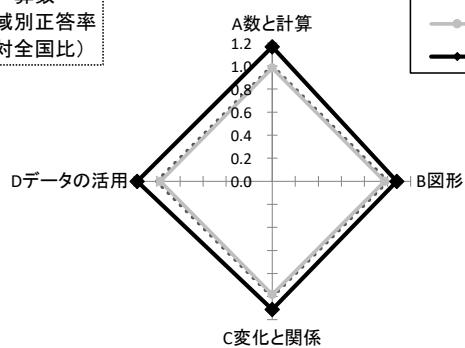
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



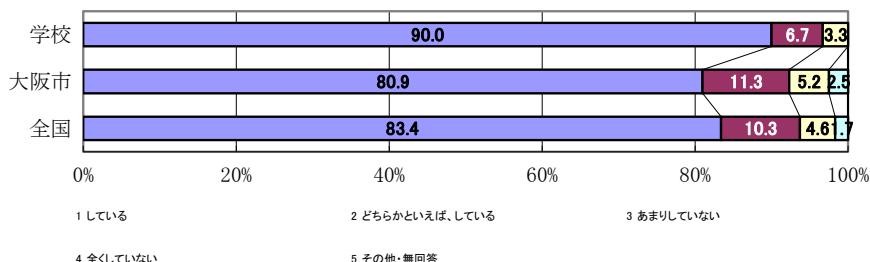
算数
領域別正答率
(対全国比)



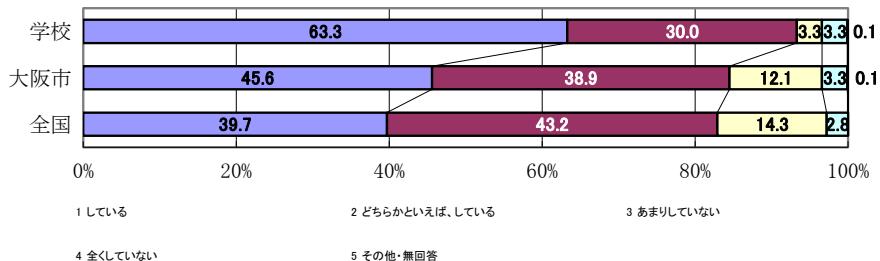
児童質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

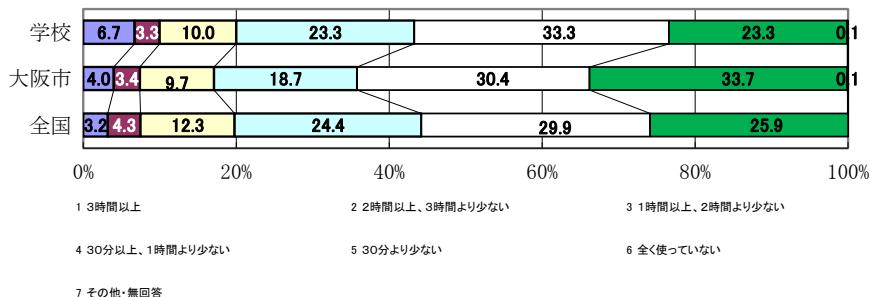
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



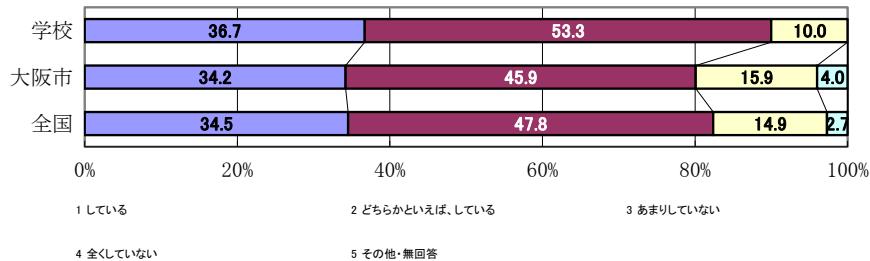
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



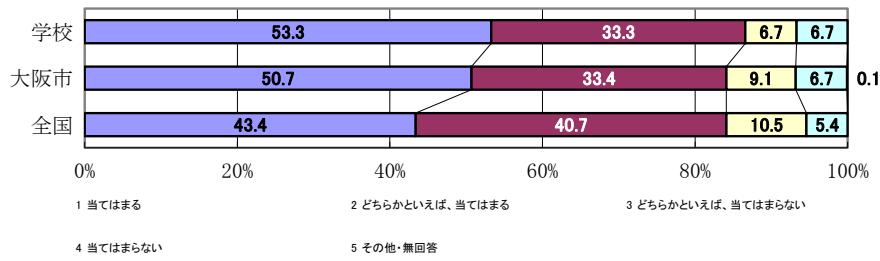
4
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



8
健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



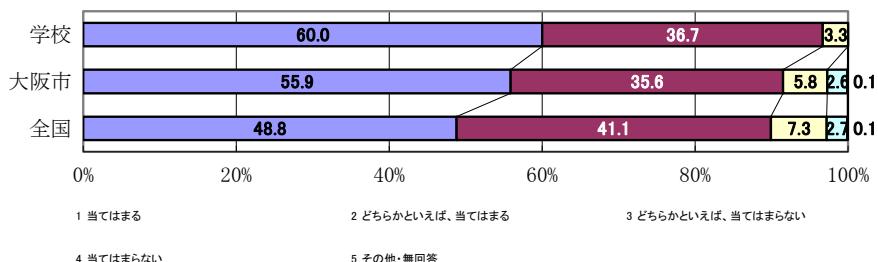
9
自分には、よいところがあると思いますか



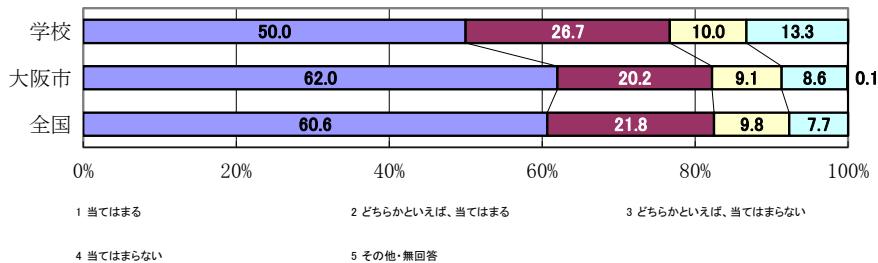
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

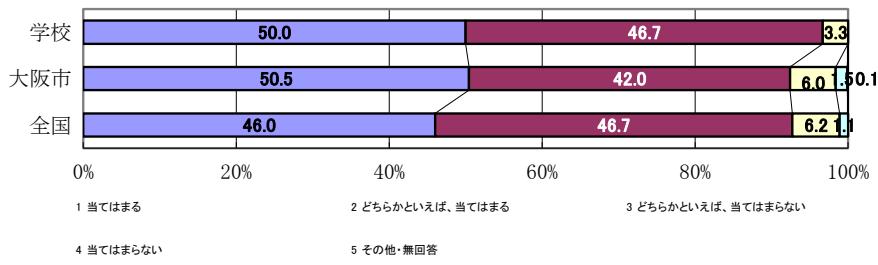
質問番号
質問事項
10
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



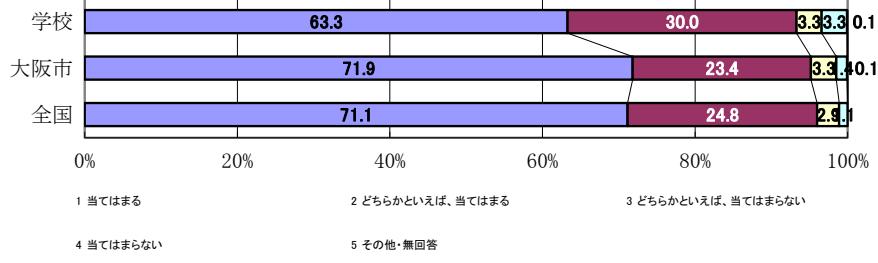
11
将来の夢や目標を持っていますか



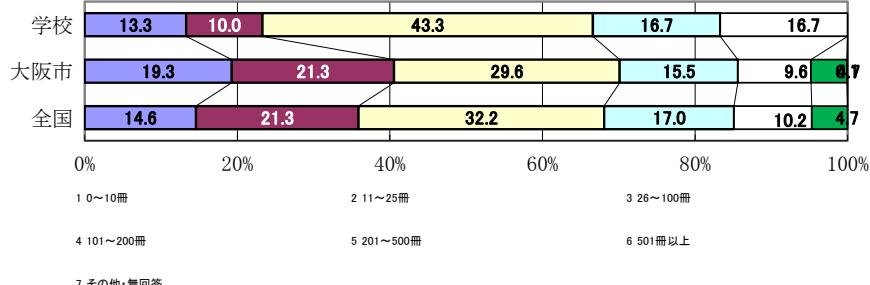
12
人が困っているときは、進んで助けていますか



15
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



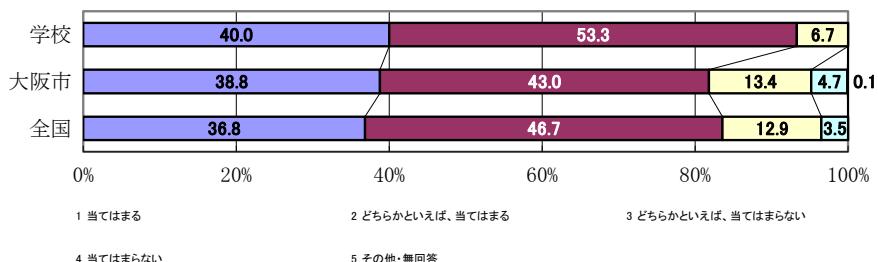
23
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



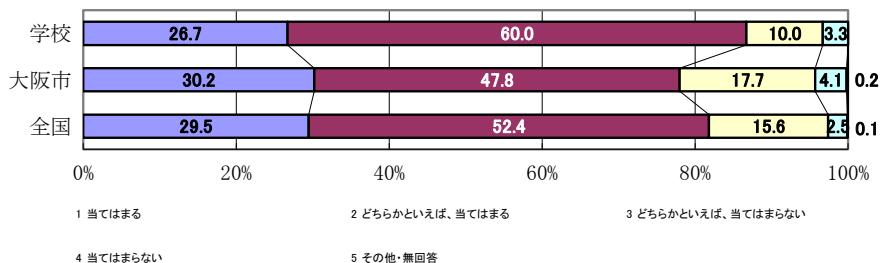
児童質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

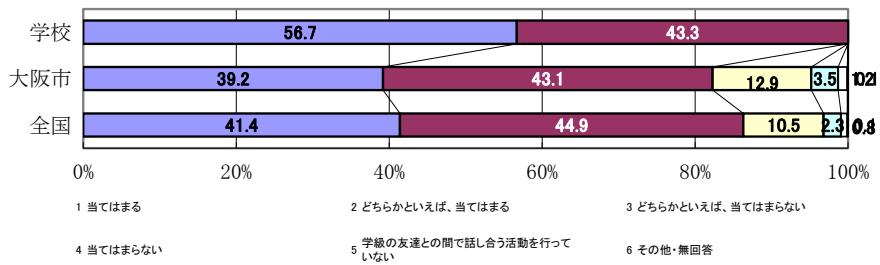
質問番号
質問事項
25
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



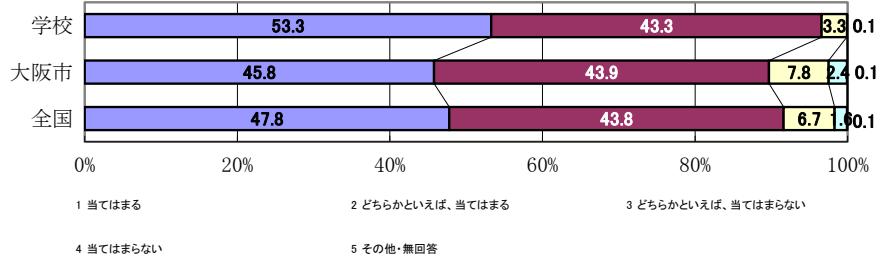
30
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



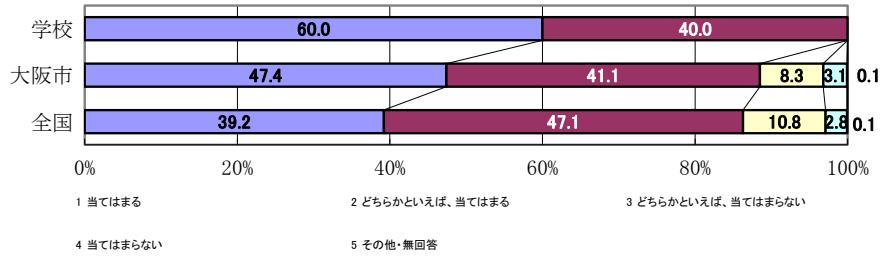
33
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



37
授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



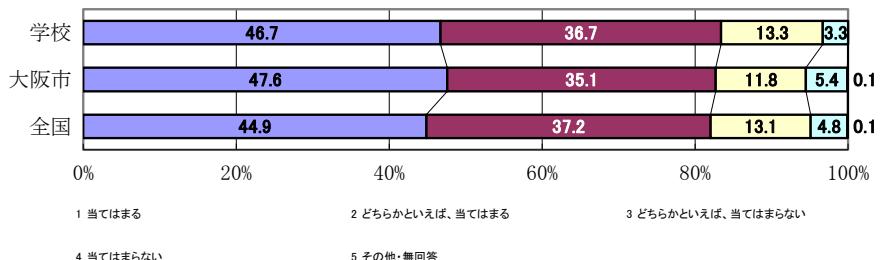
44
国語の授業の内容はよく分かれますか

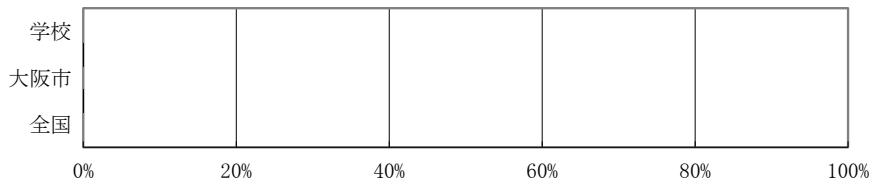


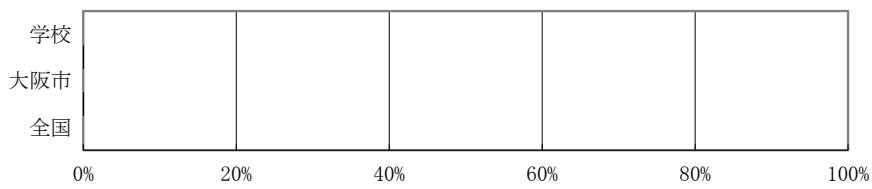
児童質問より

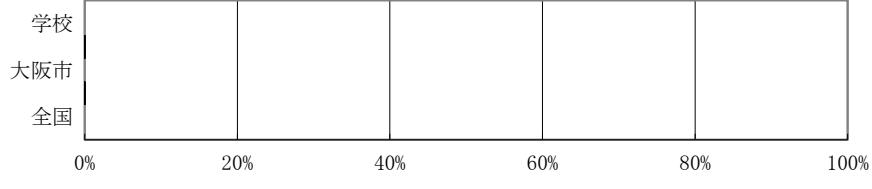
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

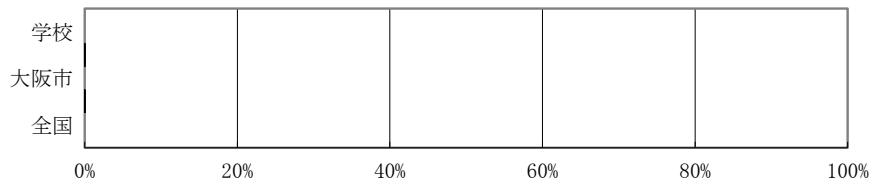
質問番号
質問事項
52
算数の授業の内容はよく分かれていますか



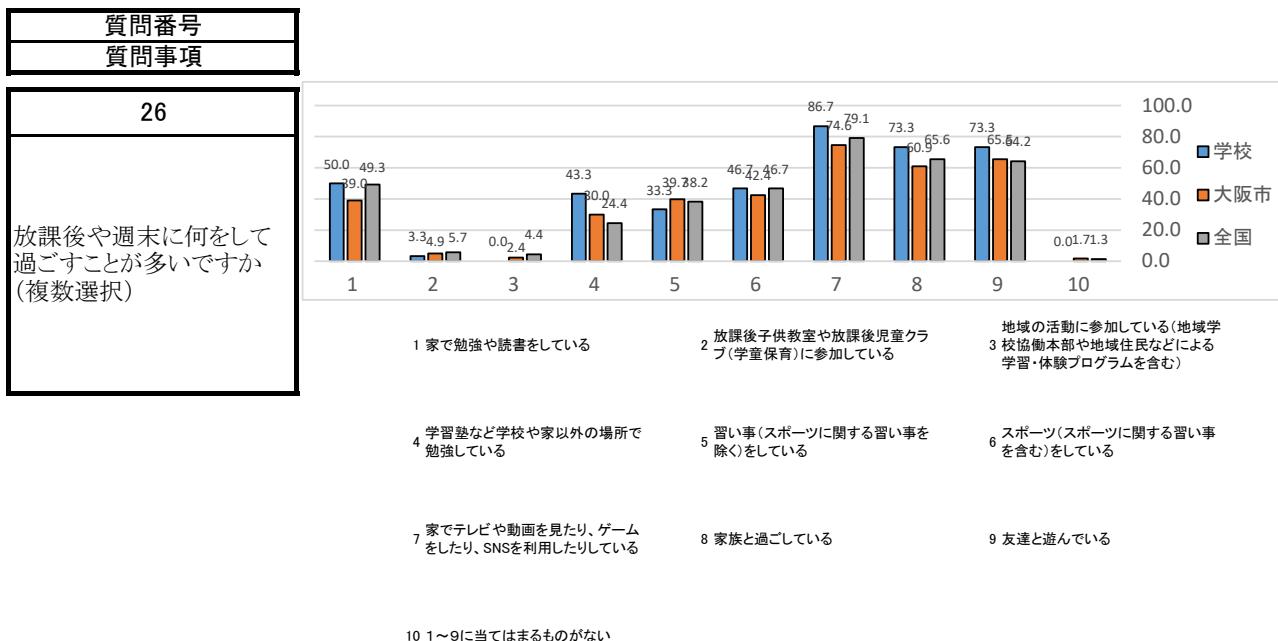








児童質問より(26)



学校質問より

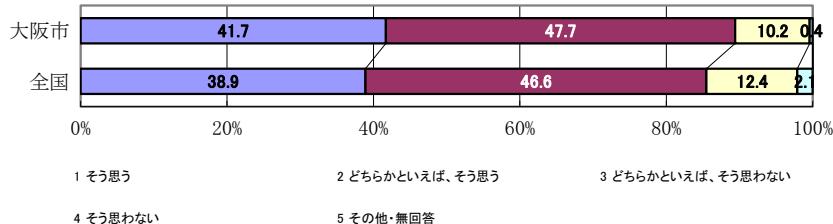
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

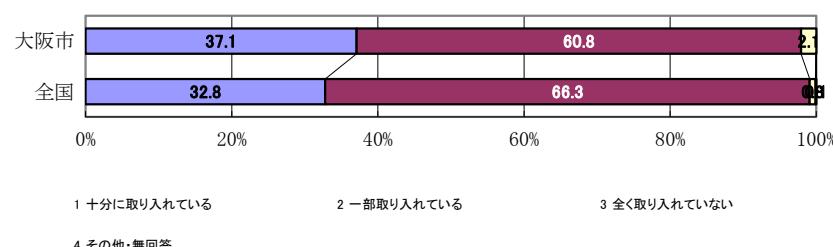
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

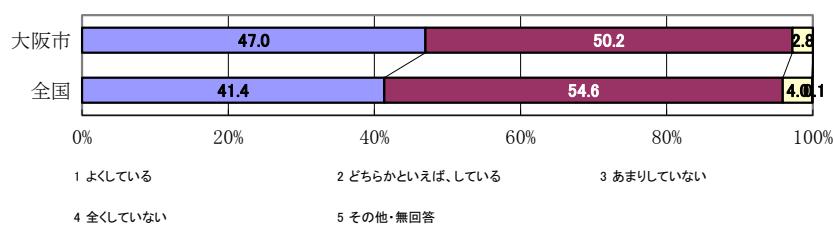
学校 「一部取り入れている」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

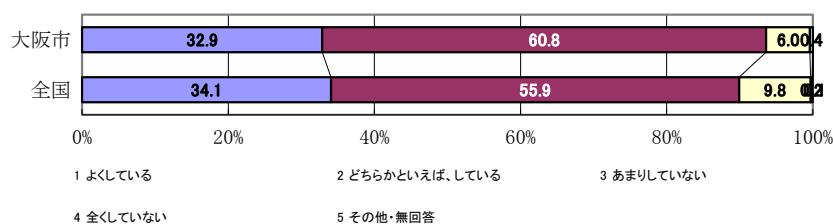
学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

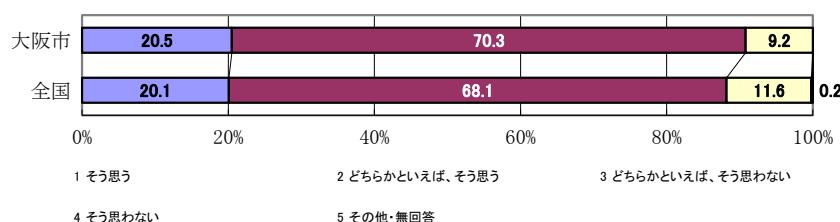
学校 「どちらかといえば、している」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校質問より

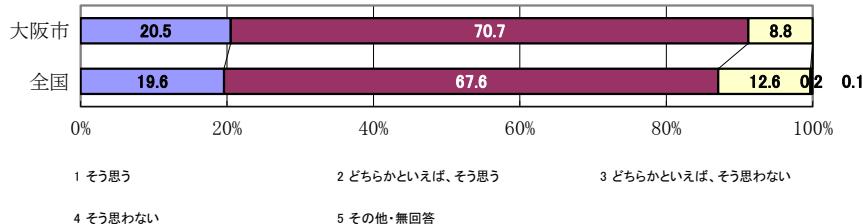
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

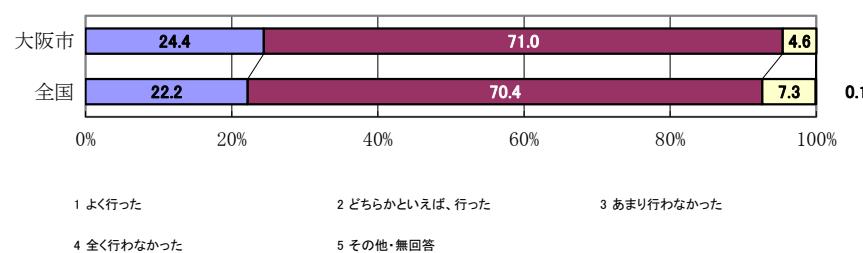
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



42

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか

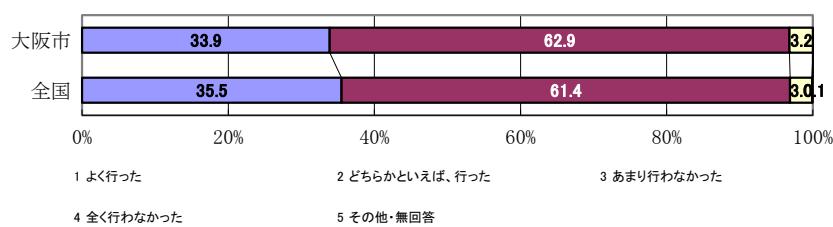
学校 「よく行った」を選択



44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか

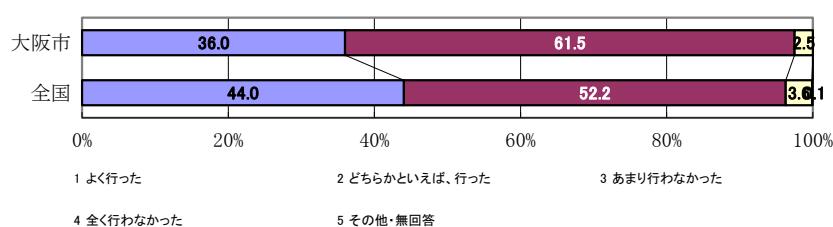
学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

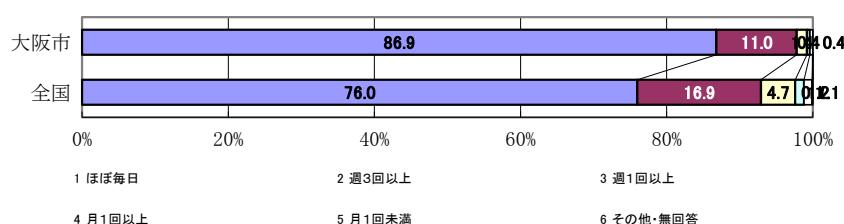
学校 「よく行った」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



学校質問より

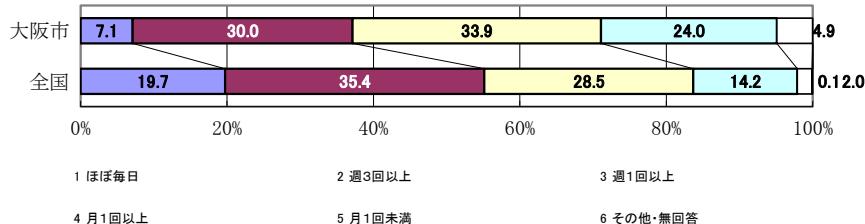
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

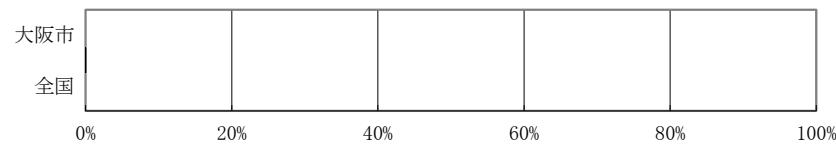
58

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか？

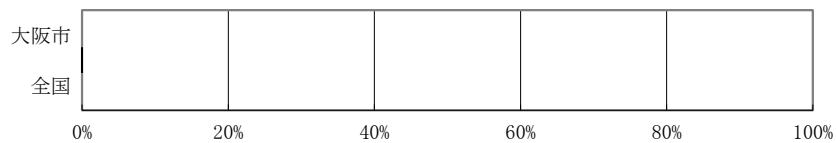
学校 「週1回以上」を選択



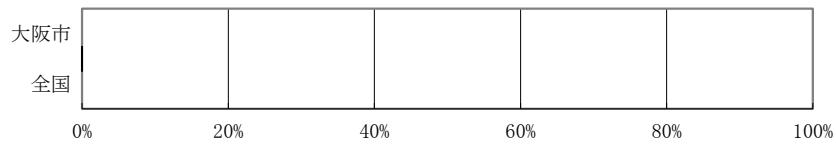
学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択

